

## 2022年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」候補（概要）

「三重県議会の活動ベスト10」の候補をリストアップしました。それぞれの内容は以下のとおりですので、皆さんの選定の参考にしてください。

### ～開かれた議会運営の実現～

2月	「みえ現場de県議会」を開催 《桑名市でコロナ禍からの復興に向けて討論》
<p>「みえ現場de県議会」は、県民の皆さんの多様な意見を県議会での議論に反映することを目的に、県内各地に出向いて開催しています。</p> <p>2月7日、桑名市において「コロナ禍からの復興に向けて」をテーマに開催しました。当日は、桑名市内の事業者の方々や、首都圏で生活する三重県出身の学生・社会人の方々（オンライン参加）と意見交換を行いました。</p>	



みえ現場de県議会

3月	「楽しい伊勢茶体験会」を開催 《議事堂エントランスホールで伊勢茶振興》
<p>3月7日、伊勢茶のおいしさを再確認する機会として、三重県議会議事堂1階エントランスホールにおいて、議会と「半泥子の会」茶友の共催で「楽しい伊勢茶体験会」を開催しました。</p> <p>「半泥子の会」茶友による「おいしい抹茶体験」や、飯南高校美術部の生徒による「お茶ラテの実演」を通じて、伊勢茶の魅力や楽しみ方を知ることができました。</p>	



楽しい伊勢茶体験会

3月	議場内で雅楽の演奏会を実施 《コロナ禍で失われた発表の場として》
<p>3月24日、議場内で皇學館大学雅楽部による演奏会を行いました。</p> <p>この演奏会は、県民から親しまれ県民に開かれた県議会を目指す取り組みの一つとして、また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、若者をはじめ文化活動に携わる県民の方々の発表の場が失われている状況に鑑みて、初めて議場内で開催しました。</p>	
	
雅楽演奏会	

5月	県議会新体制発足 《4年目の議会活動をスタート》
<p>5月19日に正副議長選挙を行い、第112代議長に前野和美議員（自由民主党、津市選出）、第116代副議長に藤田宜三議員（新政みえ、鈴鹿市選出）を選出しました。また、7つの常任委員会、特別委員会および議会運営委員会の正副委員長や委員などの選出も行い、県議会の新体制が発足しました。</p>	
	
議長就任あいさつ	

8月	第4回「みえ高校生県議会」を開催 《8校26名の高校生が参加》
<p>8月22日、「みえ高校生県議会」を開催しました。この取り組みは、広聴広報活動の一環として、高校生に議会活動を体験してもらうことで議会に対する関心を高めてもらうとともに、高校生の意見を直接聴くことで議会での議論に反映していくことを目的に開催しています。4回目となる今回は、県内8校から26人の高校生が参加しました。</p> <p>高校生議員の質問や提案は、自分たちを取り巻く環境や三重県の状況、他県の事例、統計等をしっかりと調べ、議論を深めてきたものであり、県議会にとって大変重要なものばかりでした。いただいた質問や提案は、今後の議会での議論にしっかりと繋げていきます。</p>	
	
みえ高校生県議会	

## ～ 住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進 ～

7月	「強じんな美し国ビジョンみえ」および「みえ元気プラン」の最終案 に関し申し入れ 《正副議長、全常任委員長から知事へ》
<p>7月25日、正副議長、各行政部門別常任委員長および予算決算常任委員長から知事に対し、「強じんな美し国ビジョンみえ（仮称）」および「みえ元気プラン（仮称）」最終案に基づく今後の「県政運営」等に関して、申し入れを行いました。</p> <p>この申し入れでは、人口減少対策の自然減対策および社会減対策の記述の充実や、KPI（重要業績評価指標）が県民にも分かりやすい記述になるように工夫すること、「みえ元気プラン（仮称）」の進捗管理と併せて行う行財政改革取組が後退することがないようにしっかりと取り組むことなどを要望しました。</p>	



知事への申し入れ

7月	「令和4年版県政レポート」に関し申し入れ 《全常任委員長から知事へ》
<p>7月25日、予算決算常任委員会および各行政部門別常任委員会から知事に対し、「令和4年版県政レポート」に基づく今後の「県政運営」等に関して、次のとおり申し入れを行いました。</p> <p>人口減少対策への対応について 地域の自立かつ持続的な活性化を実現するため、本県の強みや弱みなど地域特性を踏まえながら、三重県らしさを追求し、関係機関との連携のもと、「選ばれる三重」の実現に向けて、実効性のある対策を講じること。</p> <p>財政運営について 歳出歳入両面から見直しを行い、経常的な支出の抑制、多様な歳入確保策の推進を図るなど、今後も引き続き財政健全化の取り組みを行うとともに、緊急の課題に対しては的確かつ迅速に対応していける財政運営に取り組むこと。</p>	



知事への申し入れ

9月～

議会改革推進会議で4年間の議会活動の評価を進める  
《次期改選後の議会への提言に向けて》

三重県議会では議員任期4年間で特に注力して実施すべき取り組みを示すとともに、その評価の仕組みをまとめた「三重県議会 議会活動計画」を議員任期の最初である令和元年（2019年）9月に策定し、毎年度、取り組みの評価を行い、改善へとつなげています。

令和4年度は、この計画の最終年度であるため、4年間の議会活動の評価するための以下の取り組みを、9月から本格的に開始しています。

議会活動について県民の皆さまにアンケートを実施（e - モニター制度を活用）  
複数の外部有識者から評価とアドバイスを受ける  
次期改選以降の議会活動につながる提言を取りまとめる



議会改革推進会議役員会

## ～独自の政策提言と政策立案の強化～

1月～	「スマート議会の在り方検討プロジェクト会議」で検討を継続 《議会のスマート化に向けて検討》
<p>議会のスマート化について検討するため、令和3年(2021年)3月に「スマート議会の在り方検討プロジェクト会議」を設置し、検討を継続しています。</p> <p>令和4年は、10月末までに6回会議を開催し、配付資料の電子化(資料のペーパーレス化)やオンライン委員会の議員向けマニュアルの作成などを進めています。</p>	
	
資料閲覧システム操作説明会	

1月～	「三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議」で検討を継続 《条例の改正と逐条解説の作成を検討》
<p>三重県議会議員の政治倫理に関する課題について検討するため、令和3年(2021年)6月に「三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議」を設置し、検討を継続しています。</p> <p>令和4年は、10月末までに8回会議を開催し、現行の政治倫理に関する条例の改正や、逐条解説の作成について協議を続けています。</p>	
	
三重県議会議員の政治倫理に関する 検討プロジェクト会議	

1月～	「花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会」で検討を継続 《条例案素案の検討などを実施》
<p>アフターコロナを見通し、花や木で美しい三重のまちづくりを進めていくこと等により、心身ともに健やかな県民の暮らしを実現するための条例の策定に向けて、令和3年(2021年)5月に「花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会」を設置し、検討を継続しています。</p> <p>令和4年は10月末までに13回会議を開催し、条例案素案の作成に向けた委員会討議を行ったほか、7月には、花や緑の活用を推進する先進的な取り組みを行う富山県の事例を現地で調査しました。</p> <p>今後も、花と緑の活用の推進について実効性のある条例案提出に向けて、議論を深めていきます。</p>	



富山県での調査

1月 2月	県外調査をオンライン形式で実施 《コロナ禍でも積極的に調査を》
<p>新型コロナウイルス感染症のまん延を防止するために現地での調査が困難となったため、次の委員会においてオンラインを活用して県外調査を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療保健子ども福祉病院常任委員会 1月 鳥取県議会</li> <li>・花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会 2月 富山県庁</li> </ul>	



オンラインによる県外調査  
(医療保健子ども福祉病院常任委員会)

3月	ロシアによるウクライナ侵攻に厳重に抗議する決議を全会一致で可決 《三重県議会の考えを発信》
<p>2月24日に、ロシアがウクライナへの軍事侵攻を行ったことを受け、ロシアによるウクライナ侵攻に対する三重県議会の考えを発信するため、2月定例会月会議において「ロシアによるウクライナ侵攻に厳重に抗議する決議」を全会一致で可決しました。</p> <p>この決議では、ロシアによる侵攻の犠牲となられた方々に哀悼の意を表するとともに、ロシア政府に対し、ウクライナへの軍事侵攻に厳重に抗議し、ロシア軍を即時に完全かつ無条件で撤退させるよう、強く求めています。また、政府において、現地在留邦人の安全確保等に努めるとともに、即時無条件でのロシア軍の完全撤退の実現に向けて、制裁措置の徹底及び強化を図ることも求めています。</p>	
	
全会一致で可決	

3月 10月	議員勉強会を開催 《県政を取り巻く諸課題等の中からテーマを選定し見識を深める》
<p>3月10日、「五島スマートアイランド構想におけるIoTと脱炭素政策について」をテーマに、議員勉強会をオンラインで開催しました。</p> <p>また、10月3日には「若者の県内定着に向けた大学の在り方」をテーマに開催しました。</p> <p>それぞれの議員勉強会で外部有識者にご講演いただき、県政を取り巻く諸課題について見識を深めるとともに、議員間における共通認識の醸成と更なる理解の向上に努めることができました。</p>	
	
議員勉強会（令和4年10月）	

5月	<p>議員提出条例として「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」を可決 《不当な差別等の禁止を明記し、その解消のための体制や施策を規定》</p>
<p>令和2年(2020年)5月に設置した「差別解消を目指す条例検討調査特別委員会」では約1年11カ月にわたる検討を進め、本年5月に条例案を提出し、同月に「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」が全会一致で可決・成立しました。</p> <p>この条例は、対話を重視して不当な差別等の解消を推進する包括的な条例として、基本理念としての不当な差別等の禁止を明記するとともに、全国の都道府県で初めて不当な差別に係る紛争の解決のために県が助言等を行う仕組みを設けるなど、不当な差別等を解消するための体制の整備や基本的施策などについて定めています。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div data-bbox="970 421 1422 719" style="width: 40%;">  </div> <div data-bbox="1038 745 1353 779" style="width: 55%; text-align: center;"> <p>本会議において議案説明</p> </div> </div>	

5月～	<p>オンラインを活用した会議の試行を開始 《オンライン会議のノウハウの蓄積に向けて》</p>
<p>新型コロナウイルス感染症などの重大な感染症のまん延や、大規模な災害などの緊急事態が発生した場合に、議事堂に参集することが困難となっても、議会の本来の機能である政策決定ならびに知事などの事務執行について監視・評価を行うため、オンラインにより会議ができるよう準備を整えています。</p> <p>5月からオンライン会議のノウハウを蓄積するために、代表者会議や議会運営委員会においてオンライン会議を試行し、10月からは委員長会議のオンライン開催や常任委員会でのオンラインを活用した模擬委員会を開催していきます。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div data-bbox="962 1256 1430 1603" style="width: 40%;">  </div> <div data-bbox="1010 1630 1382 1664" style="width: 55%; text-align: center;"> <p>オンラインによる代表者会議</p> </div> </div>	

<p>6月 10月</p>	<p>北朝鮮に関連する二つの決議を全会一致で可決 《三重県議会の考えを発信》</p>
<p>令和3年(2021年)12月に「拉致問題を考える国民の集いinみえ」が桑名市にて開催されたことや、拉致被害者家族連絡会の前代表であった飯塚繁雄さんがお亡くなりになったことを受け、拉致被害者全員の帰国の実現に向けて全力で取り組むことが必要であるとして、6月定例会議において「北朝鮮による拉致被害者の早急な全員即時一括帰国を求める決議」を全会一致で可決しました。</p> <p>この決議では、北朝鮮に対し、一日も早く拉致被害者全員の帰国させるよう強く求めるとともに、政府及び国会において、全拉致被害者の即時一括帰国の早急な実現のために全力を尽くして取り組むよう要望しています。</p> <p>また、10月4日に北朝鮮が弾道ミサイルを発射し、青森県の上空を通過する形で太平洋に落下したことを受け、北朝鮮のこのような行為に対する三重県議会の抗議の意思を示すため、9月定例会議において「北朝鮮による弾道ミサイル発射に抗議する決議」を全会一致で可決しました。</p> <p>この決議では、北朝鮮に対し、厳重に抗議し、断固として非難するとともに、国連安全保障理事会の決議を遵守及び弾道ミサイルの発射等の挑発行動の自制を改めて強く求めました。</p>	



全会一致で可決(6月)

## ～分権時代を切り開く交流・連携の推進～

7月	紀伊半島三県議会交流会議に出席 《共通課題について国へ要望》
<p>7月14日、奈良県五條市において開催された、三重県、奈良県、和歌山県の三県議会による「第16回紀伊半島三県議会交流会議」に出席しました。</p> <p>会議では、「観光振興」と「熊野川流域の総合的な治水対策及び土砂災害対策」について意見交換が行われ、必要となる財源の確保等について三県議会の連名で国に対して要望していくことで合意しました。</p>	
	
<p style="text-align: right;">紀伊半島三県議会交流会議</p>	

8月	三重県で近畿2府8県議会議長会議を開催 《共通課題について国へ要望》
<p>8月10日、三重県津市において、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県、福井県、徳島県、鳥取県の議会による「近畿2府8県議会議長会議」を開催しました。</p> <p>会議では、当県から提出した「国保総合システムの更改に対する国の財政支援について」をはじめとした17の議題について要望を行うことで了承され、開催県である当県が代表して、10月に2府8県議会の連名で国に対して要望活動を行いました。</p>	
	
<p style="text-align: right;">近畿2府8県議会議長会議</p>	

## ～その他～

3月	<p>「大規模地震対応マニュアル」に基づく訓練の実施 《議場からの避難とメールによる安否報告》</p>
<p>3月24日、大規模地震対応マニュアルに基づき、災害発生時に議員や事務局職員がとるべき行動、役割等を確認することを目的に「大規模地震対応訓練」を実施しました。</p> <p>訓練は、5階の議場内で各議員席に設置されているヘルメットを着用して、1階正面玄関前まで避難する避難訓練と、事務局から各議員の携帯電話あてに送られた照会メールに対し安否を報告する安否報告訓練を実施しました。</p>	
	
<p>避難訓練</p>	

6月～	<p>⑳ 「通任期制」について議会改革推進会議役員会で検討 《次期改選後の議会へ引き継ぎ》</p>
<p>平成25年(2013年)1月から、三重県議会では「通年議会」を導入していますが、1年間だけでなく、議員任期の4年間を通した議会活動が重要との視点から、議会改革推進会議役員会で「通任期制」について検討しました。</p> <p>「通任期制」の導入の是非については、次期改選後の議会においても議論を続けていくこととなりました。</p>	
	
<p>議会改革推進会議役員会</p>	

9月	⑳ インターンシップ実習生を受け入れ 《報告会で議会に対して提言》
<p>三重県議会では、議会における政策立案および政策提言の充実、学生のキャリア形成の支援および地方分権の推進に資する人材の育成などを目的として、大学院で公共政策に関連する研究を行っている学生をインターンシップ実習生として受け入れています。</p> <p>コロナ禍の影響で3年ぶりの実施となった令和4年度は、三重大学大学院の学生を受け入れ、報告会では、討論の拡充、政策をつくる力の向上、情報の活用といった点から議会に対しての提言をいただきました。</p>	



インターンシップ実習生報告会

10月	㉑ 議員のSNS上での書き込みに関する正副議長声明を発表 《議員一人一人の更なる意識高揚に向けて》
<p>三重県議会議員がSNS上に書き込みを行った事案について、これまでの経過も含め、三重県議会の信頼を大きく失墜させた責任は重く受け止めるべきであるとして、10月19日に当該議員に対する辞職勧告決議案が提出され、賛成少数(賛成22、反対23)で否決されました。</p> <p>この事案を受け、10月28日に議長と副議長の連名で「三重県議会として、『三重県議会議員の政治倫理に関する条例』及び『差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例』の下、議員の責務をしっかりと果たし、県民の議会に対する信頼を揺るぎないものとするため、議員一人一人の更なる意識高揚に向けて不断の取り組みを行っていきます。」との声明を発表しました。</p>	



議長定例記者会見で発表